

取扱説明書 1

保存版

器具品番 LMT-16608

インバータ式

商品を取付ける前に必ずご確認ください

定 格

器 具	使用電圧	周波数	消費電力	適合ランプサイズ	豆 球
66W形	AC100V	50/60Hz共通	67W	FHC27形+FHC20形	5W以下

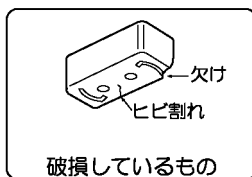
※ この器具は高照度を得る為にインバーター回路によって、ランプ表示出力よりランプ出力を高めて66W相当の明るさにしてあります。

点灯順序

└ 全灯 → 調光 → 豆球 → 消灯 ─

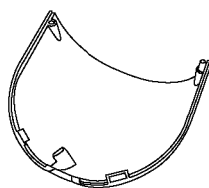
●調光状態で壁スイッチ操作をすると一旦全灯になった後調光状態になります。

●このような配線器具には取付できません



※交換には電気工事士の資格が必要です。必ず工事店・電気店にご相談ください。

●付属部品



シーリングカバーセット
(シーリングカバー2個)
(品番: SK2510WS)

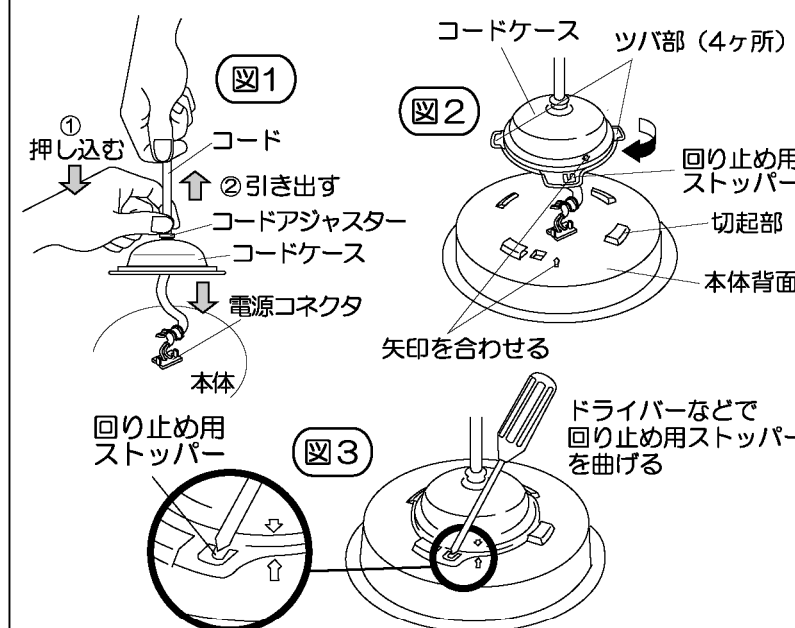
●各部のなまえと器具の取付け方 ※必ず電源スイッチを切りランプをはずして行ってください。

① 天井の配線器具を確認する



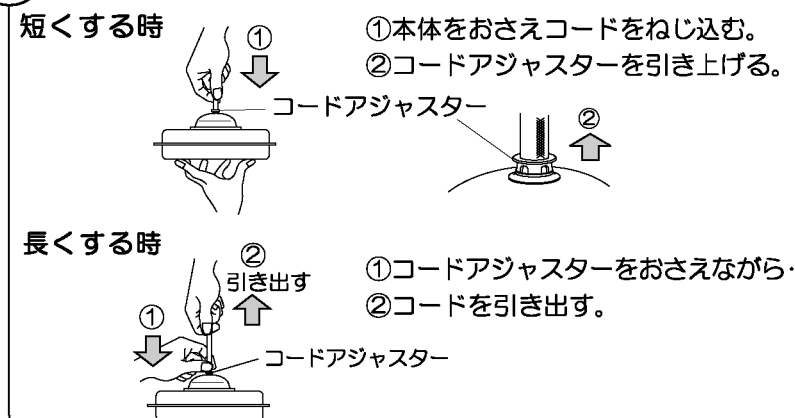
② コードケースを取付ける

- 1 電源コネクタが奥まで入っていることを確認する。
- 2 コードアジャスターを押し込みながらコードを引き出しコードケースを本体側に引き下げる。(図1参照)
- 3 コードケース4ヶ所のツバを図2のように器具本体背面の切起部4ヶ所に回してはめ込んでください。(図2参照)
(※コードケースの⇨印を本体背面の⇨印に合わせてセットしてください。)
- 4 回り止め用ストッパーを本体の凹部に曲げ込んでください。(図3参照)



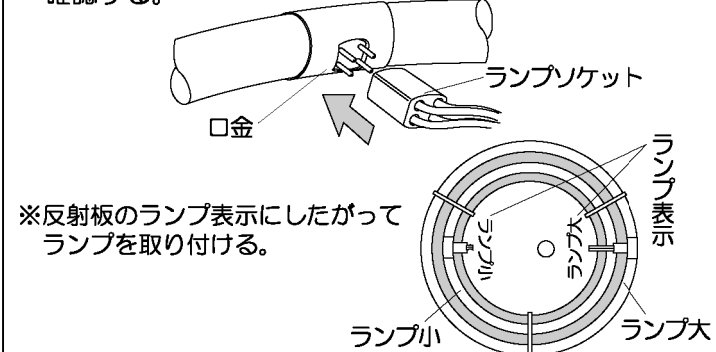
※必ず回り止め用ストッパーを本体の凹部に曲げ込んでください。コードケースを左に回して外れないことを確認してください。

③ コードの長さを調節する



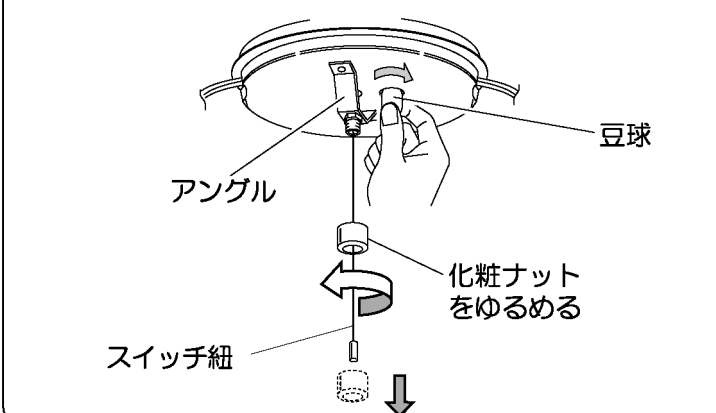
④ ランプの取付けを確認する

- 口金にランプソケットが確実に差し込まれていることを確認する。

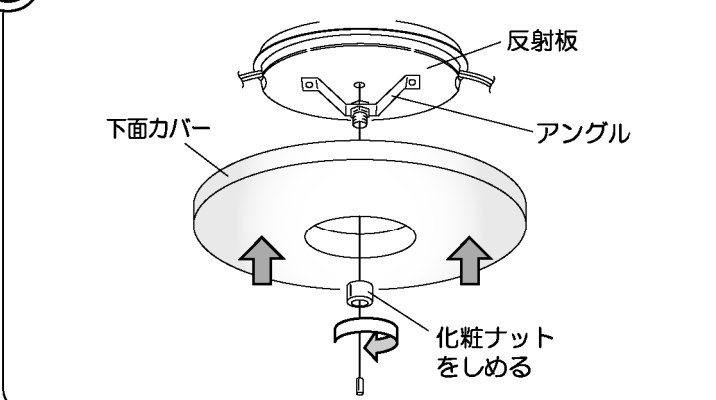


⑤ 化粧ナットをはずし、豆球のゆるみを確認する

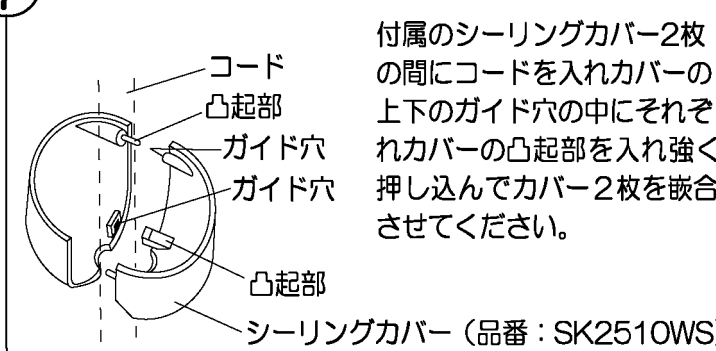
- スイッチ紐を包んでいるポリ袋を取り除き化粧ナットをはずしてください。



⑥ 下面カバーを取付ける

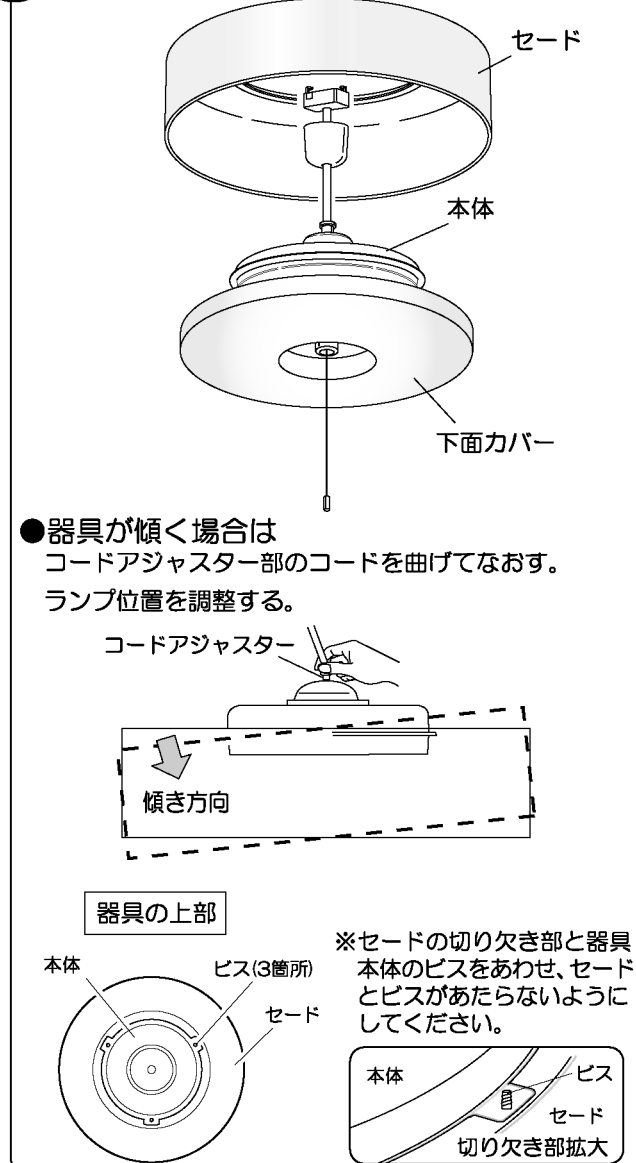


⑦ シーリングカバーを取付ける

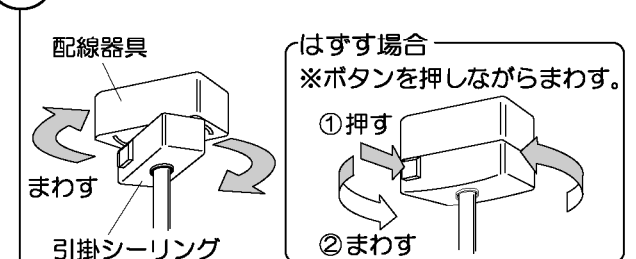


付属のシーリングカバー2枚の間にコードを入れカバーの上下のガイド穴の中にそれぞれカバーの凸起部を入れ強く押し込んでカバー2枚を嵌合させてください。

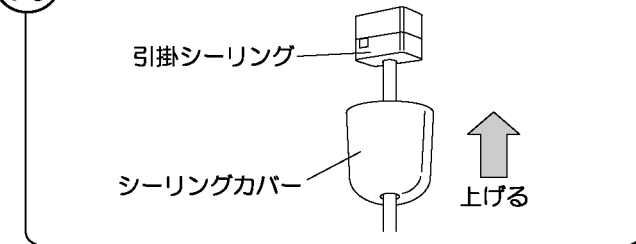
⑧ セードを本体にのせる



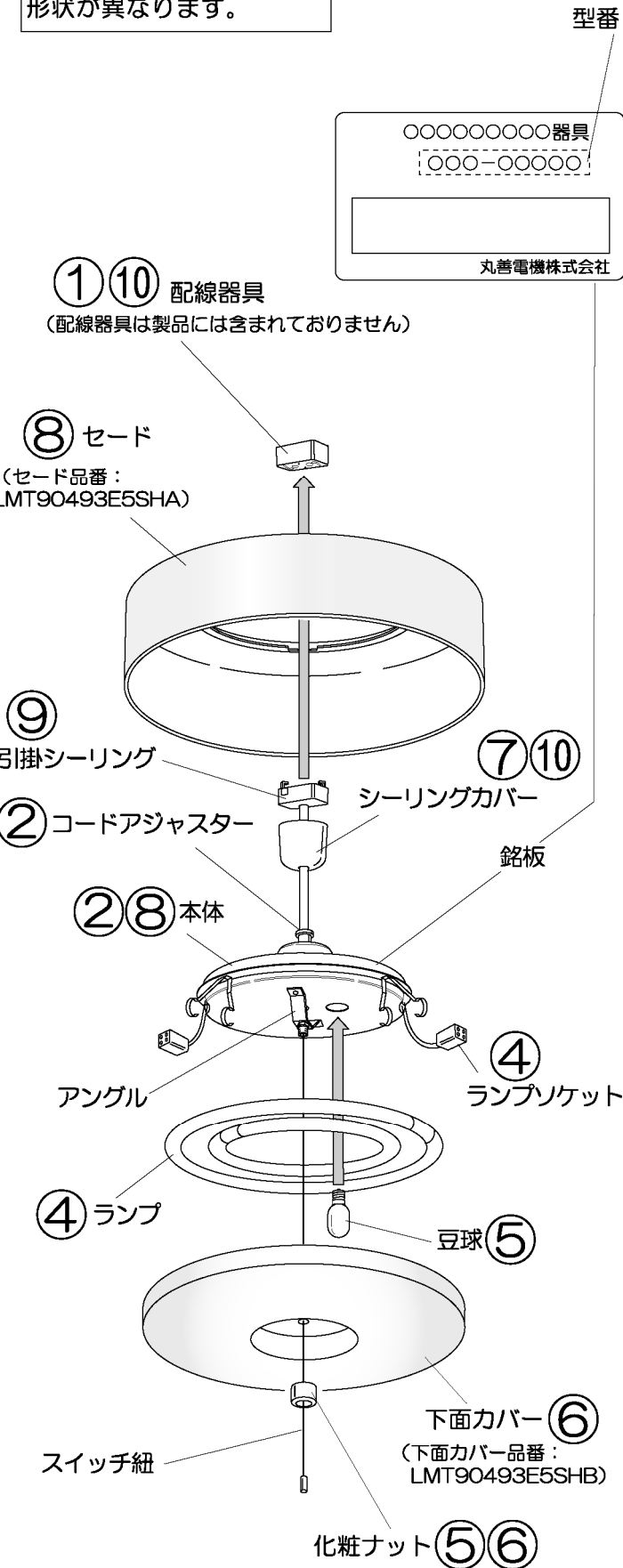
⑨ 配線器具に取付ける



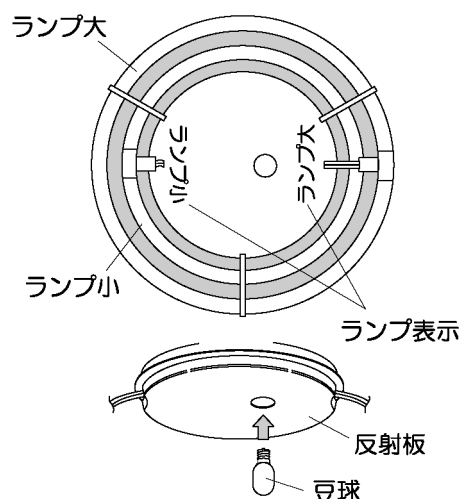
⑩ シーリングカバーを上げる



セードは機種により姿図と形状が異なります。



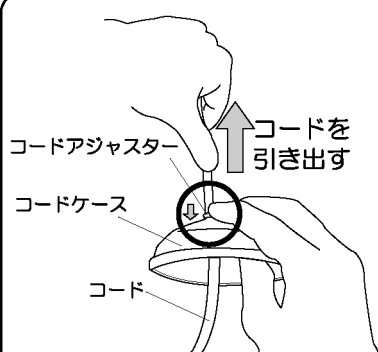
●ランプ交換について ※必ず電源を切ってください。



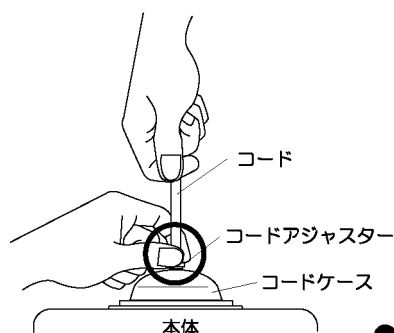
※反射板のランプ表示にしたがってランプを取り付ける。

- 消灯直後のランプは熱いので冷えるまで待ち、取り扱い願います。
- まちがったワット数のランプを取付けるとランプの寿命が短くなったり過熱焼損の原因になります。
又点灯しないようになる場合もあります。
- 点灯しなくなった場合は、反射板のランプ表示にしたがってランプが取り付けられていることを確認のうえスイッチ紐を引張って点灯の確認をしてください。
- ランプは本体が中央にくるようにセットしてください。器具が傾く原因になります。

●コードケース移動方法



※本体にコードケースを取り付けていない時は、指でコードケースとコードアジャスターを挟む様に摘みコードを動かす。



※コードが動きにくい場合、下記内容を確認の上コードを強く引き出してください。

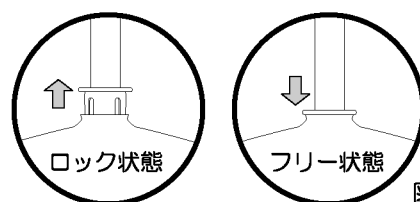


図1

- コードケースの動かし方は、コードアジャスターをコードケースに押し込みフリー状態（図1 参照）にして移動させてください。

※押し込んでいなければロック状態になり移動させることはできません。

取扱説明書 2

このたびは当社照明器具をお買い上げくださりましてありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、充分理解して正しくお使いください。
この取扱説明書は他の商品と共通になっているため、商品と姿図が違う場合があります。

工事店様へ…この取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

●ご注意とおねがい



■施工には電気工事士の資格が必要です。
必ず工事店・電気店に依頼してください。



■部品の追加改造は絶対にしないでください。
火災・感電の原因となります。
■器具のすきまに金属類（針金など）を絶対に
差し込まないでください。感電の危険があります。



■定格電圧 日本国内交流100V専用です。
海外では使用できません。
過熱し、火災の原因となります。



■この器具は屋内専用です。
屋外で使用しないでください。
火災・感電の原因になります。
5℃～35℃の範囲内で使用してください。



■浴室などの湿気の多い場所や常時温度の
高い場所では使用しないでください。
絶縁性能が低下し、火災・感電の原因
となります。



■煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま
使用すると、火災の原因となります。
すぐに電源スイッチを切ってください。
異常状態がおさまったことを確認して工事店、電器店
に修理を依頼してください。



■このような場所では使用しないでください。
●ストーブなど、温度の高くなる
ものの真上やその付近。
故障や火災の原因となります。



■ランプ交換等によりカバー、本体を外し、再度取
り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実
に取り付けてください。
不完全に取り付けると、落下してけが・物損の原因
になることがあります。



■カバーなどが破損した場合、けがの原因になる
ことがありますので、破損部分に直接手や肌など
を触れないでください。



■ランプは、ランプソケットに確実に取りつけてください。



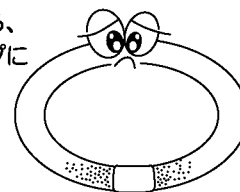
■ランプホルダーを強くはじかないでください。
ランプが破損し、けがの原因になります。



■器具にボールなどの物をぶつけたり、衝撃を与え
ないでください。
器具の落下によるケガの原因となります。



■このような状態になりましたら、
器具のワット数に応じたランプに
取替えてください。(寿命です)
●ランプの端部が黒ずんだとき。
●点滅を繰り返すとき。
●明るさが低下したとき。



■点灯中および消灯直後はランプが熱いので手や
肌などを触れないでください。ランプ・ランプ周辺
を触ると、やけどの原因になることがあります。



■山間部や鉄筋建物など電波の弱い地域では、ラジオ
や屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があり
ます。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを
器具から離してお使いください。



■器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、
他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があり
ます。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電
品を器具から離してお使いください。



■壁付調光器のある回路では使用できません。
照明器具が故障します。



■グロースタータ式の蛍光灯器具には、50ヘルツ、
60ヘルツ用の区別があります。必ず電源周波数
にあった器具をご使用ください。
間違えて使用すると火災の原因になります。

■グロースタータ式やICスタータ式の器具では、
点灯時に「ブーン」と音がする場合があります
が、異常ではありません。

プルスイッチ付きの場合、壁スイッチのみで使用される場合は、
時々プルスイッチの操作を行ってください。
スイッチ機能が損なわれ、故障することがあります。

★点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮がおこり、“ピシ・ピシ”、“ポツ・ポツ”という摩擦音を生じることがあります。
★天井の材質や構造によって、天井が変色する場合があります。

●故障のときの処置

●故障かなと思ったら ※下記の内容をご確認ください

現 象	考えられる原因	処 置	インバータ式	リモコン式	IC スタータ式	グロー スタータ式
蛍光ランプが点灯しない	ランプの口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットにはめてください	○	○	○	○
	ランプの寿命	ランプを交換してください	○	○	○	○
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにしてください	○	○	○	○
	ブレーカーがOFFになっている	ブレーカーをONにしてください	○	○	○	○
	グロースタータの寿命	グロースタータを交換してください				○
	グロースタータのゆるみ	グロースタータを締めなおしてください				○
点灯するが突然消灯する	器具がランプの寿命を検知して保護回路がはたしている	電源を切って新しいランプと交換してください	○	○		
リモコンで操作できない	リモコンの電池の寿命	リモコンの電池を交換してください		○		
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れてください		○		
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作してください		○		
	壁スイッチまたはブレーカーがOFFになっている	壁スイッチまたはブレーカーをONにしてください		○		
帰宅すると点灯していた	雷、瞬時停電、停電復帰などで、電源が一瞬「ON→OFF」となり、壁スイッチの操作と同じ現象が起こっている	壁スイッチをOFFにしておいてください		○		
異常点灯（ランプのチラツキ、自動的に点灯状態が変わる、操作しても点灯状態が変わらない）	ノイズによるマイコンの異常動作	①壁スイッチを一旦切り、再度入れてください ②ブレーカーを一旦切り、再度入れてください		○		
点灯当初にランプの一定方向に明暗のパターンが連続して発生する（移動縞現象）	ランプがまだ温まっていない状態です	数分後に正常な状態へ復帰します	○	○	○	○



上記の処置をおこなっても現象が続く場合には、電源を切り、お買上げの販売店またはお客様相談センターへ器具の型番（器具の銘板に表示してあります）と現象を連絡していただき、ご相談ください。
尚連絡されるときはお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。

●お問い合わせ

■お買い上げいただきました販売店、
工事店または、右記までご連絡ください。

●お客様相談センター
フリーダイヤル



0120 - 159087

（受付時間：AM9：00～PM5：00/土・日・祝定休）



丸善電機株式会社

<http://www.maruzen-denki.co.jp>

本社 〒664-0845

兵庫県伊丹市東有岡2-16

●お手入れとランプ交換について

※必ず電源を切ってしばらくしてから
行ってください

- 器具には寿命があります。器具交換の目安は、使用環境によりこととなりますが約8～10年です。
- 設置してから8～10年経ちますと、外観に異常がなくても内部の劣化が進んでいます。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JISC8105-1 解説による。）
- 周囲温度が高い場合は、寿命が短くなります。
- 3年に1回は、工事店などによる点検をお受けください。
- 点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。
- 不具合がありましたら、そのまま使用しないで、工事店、電器店に修理を依頼してください。

★インバータ器具の場合は1本でもランプの寿命がくると保護回路がはたらき、次のような現象となり正常点灯しません。
電源を切ってすみやかにランプ交換をしてください。

- ・ランプが消灯する。（点灯操作時）
- ・豆球しか点灯しない。（豆球操作時）
- ・保護回路がはたらくと、最初は点灯しますが、すぐに消える現象が発生します。

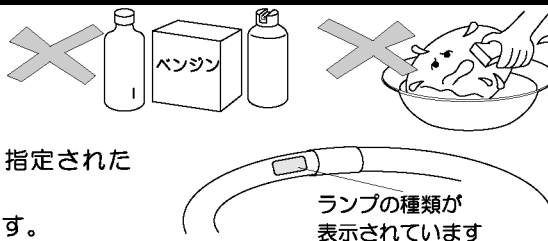
※ランプ交換の際には、すべてのランプを同時に交換することをおすすめします。

※ランプ交換した後は、点灯切り替えをおこなって再点灯してください。

※ランプを交換しても現象が続く場合は、電源を切り、お買い上げの販売店またはお客様相談センターへ
ご相談ください。

■ランプを1本外して使用しますと同様の現象が発生しますので、ランプを1本外した状態で使用しないでください。

- シンナー、ベンジン等の揮発性のもので拭いたり、
殺虫剤をかけないでください。
- 器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは
絶対にやめてください。火災・感電の原因になります。
- ランプ交換の際には、本体表示および取扱説明書にしたがって、指定された
（適合する）ランプを使用してください。
指定以外（適合しない）ランプを使用すると火災の原因となります。



●補修部品のご案内

補修部品は

- ・お買い上げの販売店
- ・弊社お客様相談センター
- ・弊社ホームページ

でお取り扱いしております。

取扱説明書 1に記載されております「器具品番」および
お求めになる補修部品の「品番」をお知らせください。

有償、無償の区分につきましては、「丸善電機照明器具保証書」をご覧ください。